



愛媛県宇和島市



兵庫県丹波市

## 【海の暮らしから山の暮らしへ】

— **愛媛** 県宇和島市 — 人口7万人、リアス式海岸、主な産業は真鯛・真珠に代表される水産業。

施主夫婦が育った街の沿革である。故郷を後にするまで、暮らしはいつも海と共にあった。

無類の釣り好きは、やがて昂じて兵庫県の金物の町にある釣具メーカーに勤務することになった。社会人になり、結婚し、子どもをもうけてからは、キャンプや川遊びも多彩な趣味の一つに数えるようになっていた。

### 「山での暮らしも悪くはない」

近頃はそんな生活にも居心地良さを感じるようになったと施主は言った。

三方を山に囲まれながら、南西方向に浮島を望む宇和島の風景が、この丹波の風景に折り重なって見えてきた。

もしも家を建てるなら、庭で遊びに興じる子どもの姿と、その向こうに山並みが続く風景をリビングの大開口部から眺めたい。それが施主の描くいい家のイメージだ。

妻も「対面式の広々としたキッチンでいろんな人と、いろいろ料理を楽しみたい♪」…と、白い歯をこぼして笑っていた。

## 【住まい手を中心とした森林の循環】

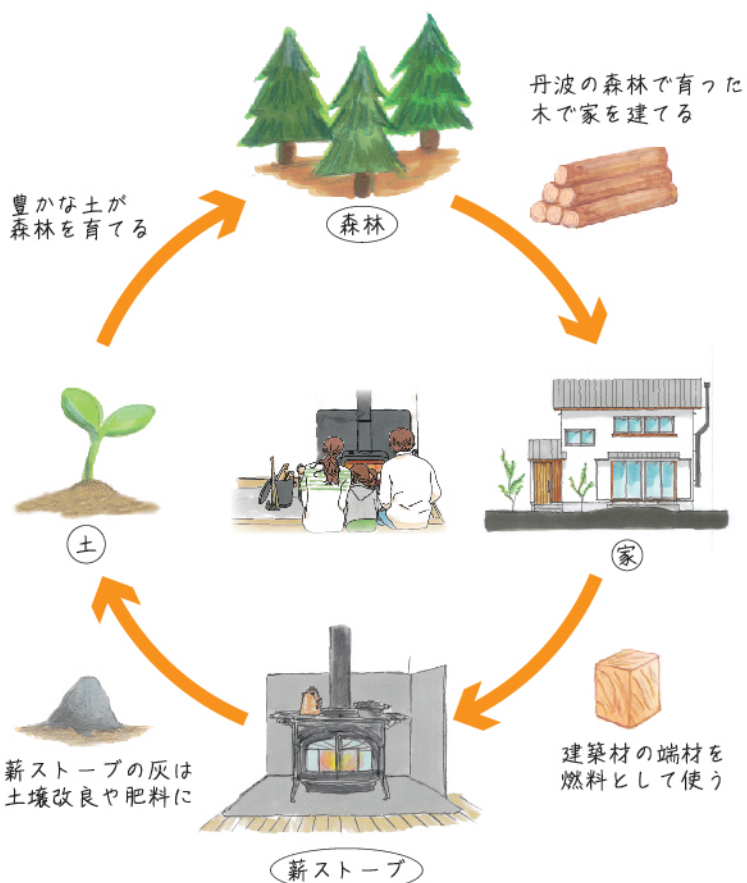
### 兵庫

県の中で木材の三大産地のひとつである丹波。しかし、時代の変化によって元気を失っている森林が増えました。それによって、人命に関わる大きな土砂災害が発生するという問題を抱えています。

### 木を使うことを生業とする 地域工務店として森林を守りたい。

丹波の森林で育った木で家を建て、建築材料の端材は薪ストーブの燃料として利用し、燃料として使った木材の灰は丹波の土へ還すという自然の循環。

【住まい手を中心とした森林の循環】を大切に考えています。



海暮らし。  
山暮らし。



# 【設計について】

## 丹波

の山々に佇む山荘のような家にしたい。

アウトドアが好きな施主の要望を踏まえ我々が提案したのは、山荘をイメージした板張り木製玄関ドアをファザードにした『くの字型の平屋』。

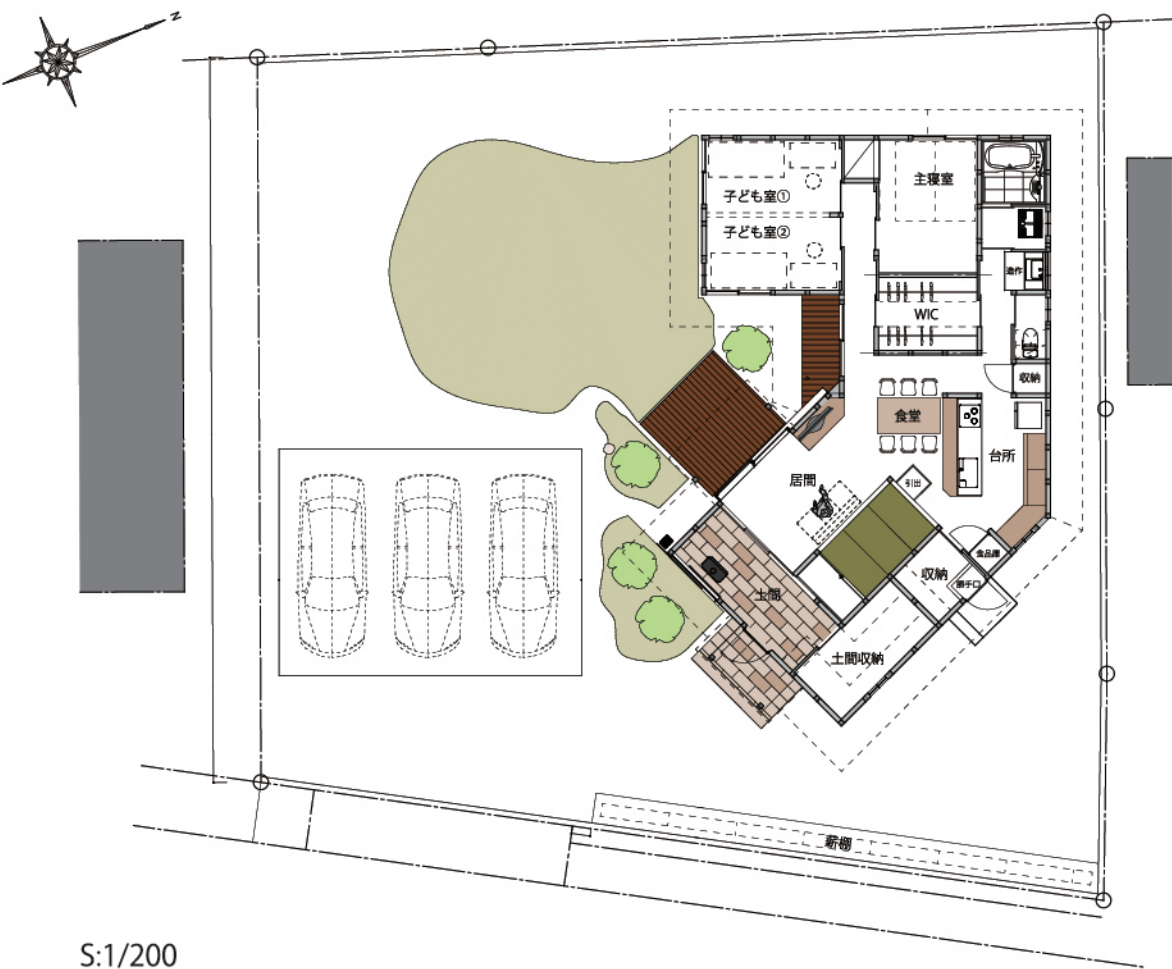
日々の暮らしを営むための場所と、そんな日常から解放され憩う場所とをくの字に曲げることによってやわらかく分けた。

憩いの場所である土間は、海で暮らしていた時からの趣味である釣りの道具や丹波に来てから始めたアウトドアのグッズを手入れなどができる趣味の場として。

冬の夜には玄関框に腰かけ、火の揺らめきを肴に一杯。そんな楽しみ方も思い描き提案した。

施主のふるさと、宇和島に広がる海と浮島の風景に方角を合わせて設けた大開口部。

その窓から望む丹波の山並みと故郷での海暮らしの思い出を重ねながら、ここでの山暮らしを送ってほしいと願いを込めた。



敷地面積	474.64 m <sup>2</sup>
建築面積	112.07 m <sup>2</sup>
延床面積	104.84 m <sup>2</sup> 31.71 坪
構造	木造軸組在来工法
構造材	丹波市産材
外部仕上げ	屋根 = ガルバリウム鋼板 外壁 = 無塗装サイディング リシン吹付、一部米杉板張り
内部仕上げ	天井 = 珪藻土クロス貼り 壁 = 左官珪藻土塗り 床 = 杉フローリング張り

S:1/200

## 【その後の暮らし】

— 妻のことば —

この家「海暮らし。山暮らし。」での生活が始まって三年半が過ぎたところで、施主一家に今の暮らしの感想を聞いた。以下に妻の言葉の中から特に印象的なものを抽出し、少し加筆しまとめた。

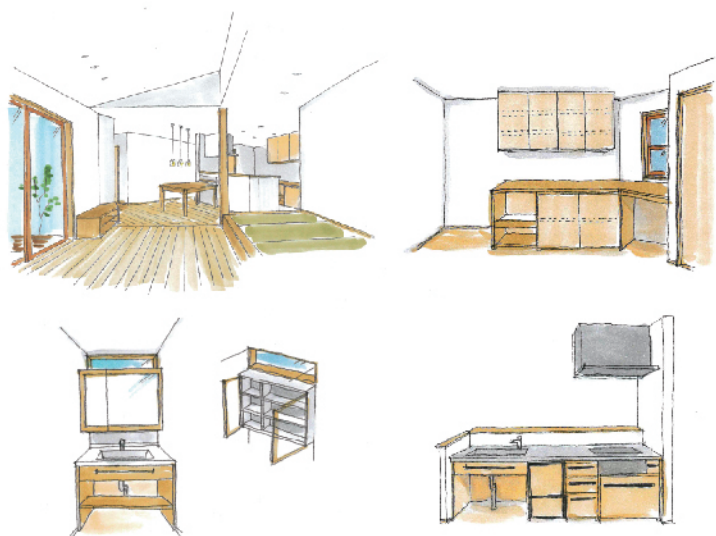
「ここで暮らし始めてから早三年が過ぎました。最初の頃、あなたがこの見知らぬ土地に住むと決めたとき

私には不安がないわけじゃなかった。(中略)

ここでの暮らしは、私はいまではすごく気に入っている。たくさんママ友が遊びに来てくれるし、子どもは薪ストーブが好きで火入れからずっと見ている(笑)

いつだったか庭でバーベキューをしていたら近所の人たちも寄り集まって十組を超えていた！なんてこともあった。子どもたちにもふるさとがあることもすごくいいことだなんて思っている。(中略)

素晴らしい日々ありがとう。  
あらためてこの三年間を、この土地での暮らしを思い返してみると、あったかくって、微笑ましくって、やっぱり良かったです。」



心地よい風と日射しが降り注ぐ庭。趣味のキャンプをお家で楽しむことが増えた。



家族が眺める丹波の山並みの先は故郷「宇和島」が位置する。



玄関框に腰かけお酒を嗜むのが冬の楽しみ。